

2016年3月期(FY2015)
第1四半期
連結決算報告



大幸薬品

2015年8月
大幸薬品株式会社



- 売上高 : 対前年同期比 1%減
- 営業利益 : 対前年同期比 63%減
- 医薬品事業 : 国内シェア増加
- 感染管理事業 : 流通在庫の影響で売上高減少

連結經營成績

連結経営成績サマリー

- 医薬品事業：国内シェア増加
- 感染管理事業：流通在庫の影響で売上高減少

単位：百万円

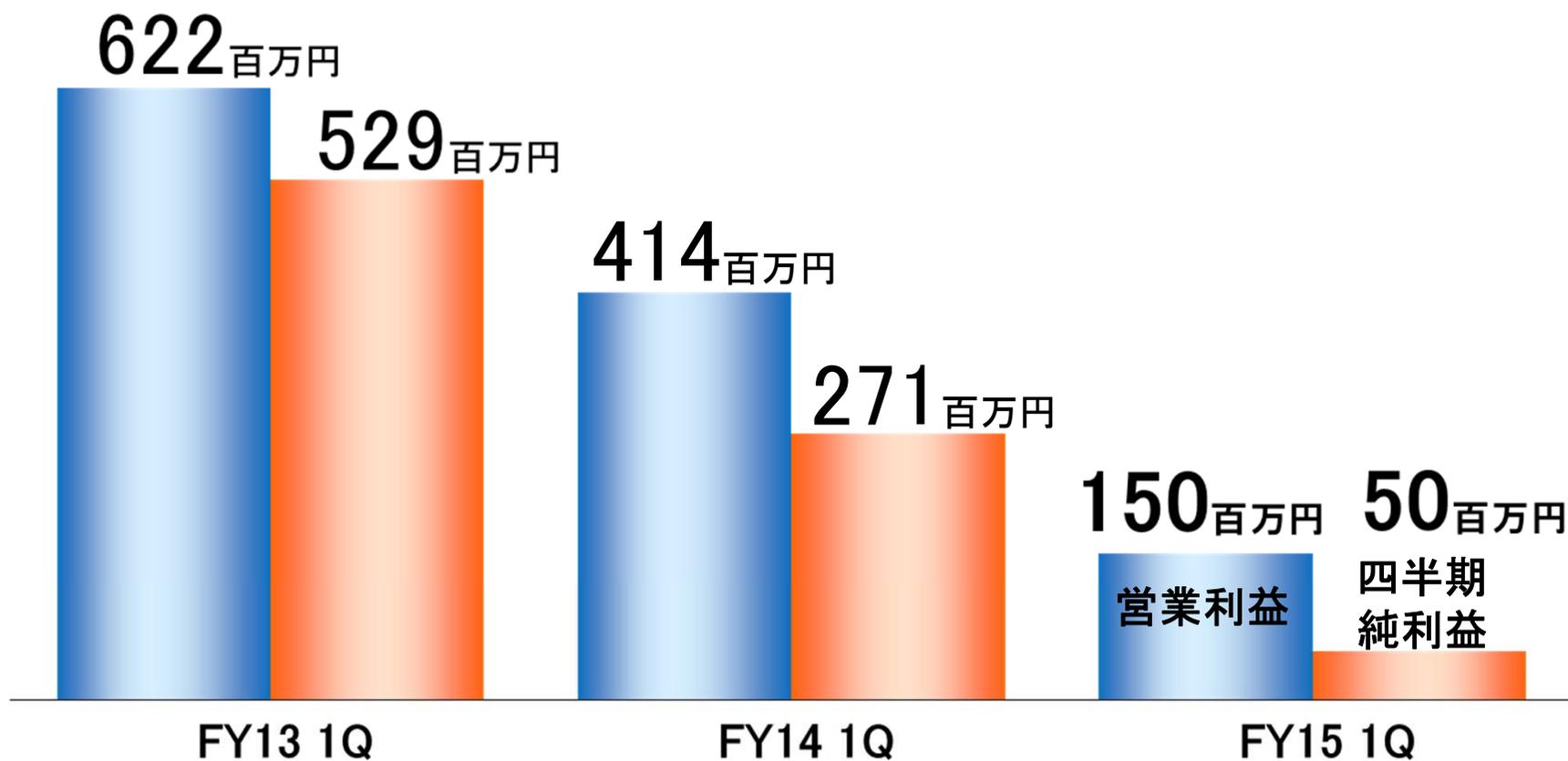
	FY14 1Q	FY15 1Q	増減	増減率	増減要因等
売上高	1,453	1,429	△24	△1.7%	医薬品) 海外減少、国内増加 感染管理) 出荷減少、多額の返品
売上原価(※) (売上高比率)	322 (22.2%)	470 (32.9%)	147	45.7%	(利益率低下要因)
売上総利益 (売上高比率)	1,131 (77.8%)	959 (67.1%)	△171 (△10.7P)	△15.2%	・前1Qは多額の返品調整引当金戻入益計上 ・当1Qは工場移転準備に伴い粗利減少
販売費及び 一般管理費	716	809	92	12.9%	広告宣伝強化
営業利益 (売上高比率)	414 (28.5%)	150 (10.5%)	△263	△63.7%	
経常利益 (売上高比率)	410 (28.3%)	170 (11.9%)	△240	△58.5%	
四半期純利益 (売上高比率)	271 (18.7%)	50 (3.5%)	△221	△81.4%	工場移転費用46百万円計上 法人税等調整額57百万円計上

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

連結売上高推移



連結営業利益・四半期純利益推移



販売費及び一般管理費

➤ 医薬品事業及び感染管理事業の広告宣伝強化

単位：百万円

	FY14 1Q	売上高 比率	FY15 1Q	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	155	10.7%	230	16.1%	75	48.4%	
広告宣伝費	63	4.4%	113	7.9%	49	78.0%	医薬品事業及び感染管理事業の強化
販売促進費	52	3.6%	60	4.2%	8	15.6%	
運送費	39	2.7%	56	4.0%	17	44.1%	工場移転準備に伴う保管料増加
人件費	295	20.3%	307	21.5%	11	4.1%	
その他経費	266	18.3%	271	19.0%	5	2.0%	
研究開発費	53	3.7%	64	4.5%	10	20.2%	
支払手数料	68	4.7%	66	4.7%	△1	△2.4%	
計	716	49.3%	809	56.6%	92	12.9%	

連結財政状態

➤新工場建設投資、法人税等の支払及び配当により現預金減少

単位:百万円

	FY14 期末	FY15 1Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	10,478	6,904	△3,573	△34.1%	
現金及び預金	6,119	2,626	△3,492	△57.1%	新工場建設投資 法人税等の支払 配当 △2,257百万円 △589百万円 △288百万円
売上債権	1,863	1,681	△181	△9.7%	
たな卸資産	2,180	2,319	138	6.4%	
固定資産	8,120	8,226	105	1.3%	
資産合計	18,599	15,130	△3,468	△18.6%	
流動負債	5,003	1,757	△3,246	△64.9%	新工場設備関係支払手形の決済
仕入債務	349	294	△55	△16.0%	
固定負債	1,121	1,137	16	1.4%	
純資産	12,473	12,235	△237	△1.9%	配当
負債純資産合計	18,599	15,130	△3,468	△18.6%	
自己資本比率	66.7%	80.3%			

連結キャッシュ・フロー状況

➤新工場建設投資、法人税等の支払及び配当により現預金減少

単位:百万円

	FY14 1Q	FY15 1Q	主な要因	
営業CF	△ 795	△ 830	EBITDA	204百万円
			売上債権の減少	179百万円
			たな卸資産の増加	△138百万円
			未払金の減少	△243百万円
			法人税等の支払	△589百万円
投資CF	△ 99	△ 2,042	新工場建設投資	△2,257百万円
財務CF	△ 962	△ 260	配当	△288百万円
現金・同等物換算差額	△ 26	11		
キャッシュ増減(※1)	△ 1,883	△ 3,122		
キャッシュ期末残高	6,339	2,316		
EBITDA(※2)	477	204	営業利益	150百万円
			減価償却費	54百万円

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 国内向けが牽引も、広告宣伝強化等で利益減少
- 感染管理事業: 流通在庫が重荷、前1Qに返品調整引当金戻入益計上

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY14 1Q	FY15 1Q	増減率	FY14 1Q	利益率	FY15 1Q	利益率
医薬品事業	1,415	1,420	0.3%	705	49.9%	627	44.2%
感染管理事業	32	1	△96.7%	△ 14	-	△ 202	-
その他事業	5	7	42.2%	△ 6	-	△ 7	-
全社(※)	-	-	-	△ 270	-	△ 267	-
連結合計	1,453	1,429	△1.7%	414	28.5%	150	10.5%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

➤ 正露丸、糖衣Aともに売上高増加し市場シェアも50%超へ回復



正露丸



セイロガン糖衣A

(※)その他医薬品



ピシヤット錠



樋屋奇応丸

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY14 1Q	FY15 1Q	増減	増減率
正露丸	431	471	39	9.2%
セイロガン糖衣A	473	482	9	1.9%
その他(※)	41	46	4	11.7%
計	946	1,000	53	5.7%

(※)小児五疳薬『樋屋奇応丸』、整腸薬『ラッパ整腸薬BF』
止瀉薬『ピシヤット錠』等

当社の国内止瀉薬市場シェア

出所: (株)インテージ 調査データ

	FY14 1Q	FY15 1Q	増減
店頭小売価格ベース			
市場シェア (%)	49.6%	50.1%	0.5P

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- ライセンス更新手続き中の出荷制限影響から中国市場は減少
- 香港市場は円安効果もあり好調に推移

地域別売上高

単位:百万円

	FY14 1Q	FY15 1Q	増減	増減率
中国	190	98	△92	△48.5%
香港	190	261	70	37.2%
台湾	76	50	△25	△33.3%
その他(※)	11	10	△1	△14.9%
計	469	420	△48	△10.4%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 前期末の流通在庫増による出荷減少と多額の返品により売上高減少
- 一方、店頭販売は前期を上回り好調に推移

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円



クレベリンゲル クレベリンスプレー



クレベリン
パワーセイバー クレベリンG
スティックタイプ



DENSO
車両用クレベリン クレベリン発生機
リスパス NEO

	FY14 1Q	FY15 1Q	増減	増減率
ゲル剤	15	△36	△52	-
液剤	△12	△2	9	-
クレベリン発生機(※)	29	40	10	37.3%
計	32	1	△31	△96.7%

(※)『クレベリン発生機』:低濃度二酸化塩素ガス発生装置

対象顧客別売上高

単位:百万円

	FY14 1Q	構成比	FY15 1Q	構成比	増減	増減率
一般用	△58	-	△84	-	△25	-
業務用	91	-	85	-	△5	△6.5%
計	32	-	1	-	△31	△96.7%

セグメント別事業概況(その他事業)

➤木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY14 1Q	FY15 1Q	増減	増減率
木酢製品等	5	7	2	42.2%



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。